

2020 年へ向けて始動した助成事業 「平成 28 年度東京文化プログラム助成」採択事業決定

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)は、2020 年に向け芸術文化活動の気運の醸成を図るとともに、東京の多彩な芸術文化を国内外に発信することを目指し、今年度、助成事業「東京文化プログラム助成」を新設いたしました。特に、初年度となる今回は、民間団体や企業等が実施するインパクトのあるプロジェクトを対象とし、平成 28 年 4 月 20 日(水)から公募を開始し、公募締切の平成 28 年 5 月 31 日(火)まで、計 38 件の申請がありました。

この度、10 名の有識者からなる審査員による厳正な審査の結果、今年度は 5 件を採択いたしました。

平成 28 年度「東京文化プログラム助成」採択事業一覧

事業名: NIHONBASHI NIGHT PROGRAM SAKURA -JAPAN IN THE BOX-

申請団体名: 株式会社明治座

開催期間: 2016 年 9 月 19 日～2017 年 3 月 31 日

事業内容: 日本舞踊や殺陣などの伝統芸能と、アニメやダンス、光と映像、音楽を組み合わせた 70 分の複合エンターテインメント。夜 8 時 30 分からの公演は、国内外の人々に向けた新しい文化の楽しみ方を提案。



事業名: TRANS ARTS TOKYO 2016

申請団体名: 一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN

開催期間: 2016 年 10 月 15 日～30 日

事業内容: アートと産業とコミュニティの融合を目指し、先鋭的なアーティストの最新の表現活動から誰もが楽しめる食のイベントまで、クリエイターと企業やまちの人々とのつながりの中から生まれる創造性によりまちを魅力的にし、東京ならではの新しいアートの祝祭空間が出現。



cocoten 2015 by coconogacco TRANS ARTS TOKYO 2015

事業名: TOKYO DESIGN WEEK 2016- IMAGINE FUTURE

申請団体名: TOKYO DESIGN WEEK 株式会社

開催期間: 2016 年 10 月 26 日～11 月 7 日

事業内容: 明治神宮外苑で開催する、デザインとアートの祭典。本助成を活用し、2020 年に向けた祝祭感を醸し出すことを目的とした特別プログラム(屋外に配した特設透明バルーンパビリオンを設置し「スポーツ」をテーマにした作品を展示)を実施。

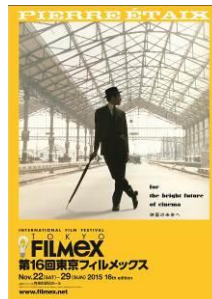


事業名: 第 17 回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2016

申請団体名: 特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会

開催期間: 2016 年 11 月 19 日～27 日

事業内容: 東京発の国際映画祭。15 年以上続き、映画の作り手を育て、次世代育成にも力を入れている。2020 年に向けた新たな取組みとして、アジアの新進作家の約 10 作品を上映し、異文化理解を促進する文化プログラムを目指す。



事業名: ミュージカル『わたしは真悟』

申請団体名: 株式会社ホリプロ

開催期間: 2017 年 1 月 8 日～26 日

事業内容: 注目される日本人若手クリエイター達も参画し、楳図かずおの傑作漫画「わたしは真悟」を日仏共同でミュージカル化。東京を舞台に日本が誇る産業ロボットが活躍する物語。世界で認知される東京産ミュージカルの先駆的存在として期待。





審査委員長 小山 薫堂（放送作家・脚本家、東京芸術文化評議会評議員）

都民の皆さんが、2020 年に向かうこの4年間でどれだけワクワクした気持ちで過ごせるか・・・そのスタートの号砲にふさわしい文化企画を選出しました。
企業と民間がタッグを組んだ大型企画から、個人の情熱から生まれた街中のアートイベントまで様々。企画の大小は関係ありません。
今回の東京都による文化気運醸成が、日本全国の文化気運醸成につながることを期待しています。

放送作家、脚本家。熊本県出身。「料理の鉄人」「世界遺産」等斬新なテレビ番組を数多く企画。脚本を担当した映画「おくりびと」では第 81 回米アカデミー賞外国語映画賞獲得。執筆活動の他、東北芸術工科大学教授、文化庁の日本遺産委員会委員、熊本県地域プロジェクトアドバイザー、京都館館長などを務める。



品田 英雄（日経 BP 社 ヒット総合研究所上席研究員）

憲章にもある通り、オリンピックはスポーツとともに文化の祭典でもあります。
2012 年のロンドン大会では「Once in a Lifetime」をテーマに 18 万近くの文化イベントが開催され、大会を盛り上げました。
私も 2020 年に向けて、「東京っておもしろい」と世界の人たちが思えるエンタテインメントやアートのイベントを発信したいと考えて選考に参加しました。
世界の才能を取り入れつつ、日本のおもしろさを形にしたイベントが次々と登場するはず。期待してください。

日経BPヒット総合研究所上席研究員／デジタルハリウッド大学大学院客員教授。1957 年生まれ、東京都出身。学習院大卒後、ラジオ局を経て日経BP社入社。97 年編集長として「日経エンタテインメント！」を創刊。日経新聞で「たけなになるエンタメ」「ヒットの現象学」を連載中。趣味はサルサ。日本をもっとウキウキさせるべく活動中。



椎木 里佳（株式会社 AMF 代表取締役）

今回、様々なジャンルの審査員の方々と一緒に審査をさせていただきました。
都民と学生の皆さんと一緒に楽しめるようなものを学生目線で選考しました。
2020 年に向けて若者と都民の皆さんが楽しみだー！盛り上げていきたいなー！と感じてもらえるようなものになったと思います。ぜひ足を運んでみてください！

1997 年生まれ。株式会社「AMF」代表取締役社長。現在、慶應義塾大学文学部 1 年。女子中高生のマーケティングチーム「JCJK 調査隊」を運営し、女子中高生向けのプロデュース事業などを手がける。2016 年 2 月には、Forbes ASIA が選定する「30 歳以下の世界が注目すべき 30 人」に選出されるなど、国内外で注目を集める若手実業家。



やなぎ みわ(アーティスト)

新たな祝祭の立ち上げ、長年継続してきたプロジェクトの拡充、または新機軸作り、すでに制作が進行中の大型興行。さらに観光事業的なものから、ひとりのクリエイターを中心にした作品制作まで、多岐に渡りすぎて比較検討するのは大変難しかったというのが正直なところだ。気運醸成の気運が、2020 年へ向けた祭典の気配を高めるものであるのか、芸術文化の活性化のことを指すのか、今回は前者に重きを置いた選択となったが、その指針を定めることが望まれる。

神戸市出身。1990 年代後半より写真作品を発表。ドイツ・グッゲンハイム美術館、原美術館、国立国際美術館をはじめ国内外での個展多数。09 年ヴェネツィアビエンナーレ日本館代表。10 年から演劇活動を始め、「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテーブル」は戦後 70 年の昨年、北米 5 都市を巡回した。台湾で制作したステージトレーラーで、『車両演劇 日輪の翼』(原作・中上健次)をツアー中。



中里 周子(アーティスト)

横断的な文化の交流が起きる場にこそ文化・芸術の新しい形が生まれていくと考え、それを担うことが今回の文化プログラムの本来の意義であると考え。今回選出されたプログラムがそれぞれのクリエイションを通して、私たちに発展性と新たな美の形を提案してゆくことを期待している。

また自分自身も四年後の東京の未来を見据えながら、作品を世界に発信していきたい。

1988 年東京生まれ。東京藝術大学大学院博士課程在籍中。2014 年アートフェア東京にて美術手帖賞、欧州 ITS にて日本人初ジュエリー部門グランプリ・スワロフスキーアワード、アートワーク部門ファイナリスト選出。2015 年平山郁夫文化芸術賞受賞。2014 年より NORIKONAKAZATO を始める。<http://norikoniko.tumblr.com>



撮影：杉全泰

吉本 光宏(ニッセイ基礎研究所 研究理事、東京芸術文化評議会評議員)

採択案件はどれも野心的な側面を備えたもので、映画、ミュージカル、演劇、現代アート、映像、デザインなど多彩な分野が出そろったこととなった。街中や公園など屋外での展開は気運醸成への効果が見込める。一方で事業規模や動員が重視されたこともあって、芸術本位の先駆的な事業は元々応募も少なく採択されなかった点は残念だが、今回の助成で 2020 年に向けた気運醸成が図られ、さらに多様な文化プログラムに発展していくことを期待したい。

1958 年徳島県生。早稲田大学大学院修了。文化審議会文化政策部会委員、東京芸術文化評議会評議員／文化プログラム検討部会部会長などを歴任。東京オペラシティや東京国際フォーラム等の文化施設開発やアート計画のコンサルタントとして活躍する他、文化政策、創造都市、文化オリンピック等の調査研究に取り組む。著書に「文化からの復興」など。

その他の審査員

- ・ 内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局 参事官
- ・ 公益財団法人 東京都観光財団 総務部長
- ・ 東京都生活文化局文化振興部 部長
- ・ 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 機構長

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 広報担当: 森(隆)、圓城寺
TEL: 03-6256-8432 E-mail: press@artscouncil-tokyo.jp <http://www.artscouncil-tokyo.jp/>

平成 28 年度「東京文化プログラム助成」採択事業紹介

NIHONBASHI NIGHT PROGRAM SAKURA -JAPAN IN THE BOX-

日本舞踊や殺陣などの伝統芸能と、アニメやダンス、光と映像、音楽などを組み合わせた複合エンタテインメント。主に夜 8 時 30 分から開演し、70 分におよぶ公演は、国籍や年齢を問わず楽しめ、東京の夜の楽しみ方に新しい選択肢を提供する。

出演者はオーディションで選ばれ、新たな若手人材発掘の機会ともなり、若手の熱意を 2020 年に向けた気運醸成につなげていく。



公演期間：2016 年 9 月 19 日(月・祝)～2017 年 3 月 31 日(金) ※公演回数 88 回

公演時間：20 時 30 分～（日によって 19 時～）

会場：明治座

TRANS ARTS TOKYO 2016

アーティスト中村政人が代表を務めるコマンド N が開催する街を舞台としたアートプロジェクト。東京の街の店舗や空き地、空ビル等の様々な空間を活用して展示、イベントを行う。アートと産業とコミュニティの融合を目指し、先鋭的なアーティストの最新の表現活動から誰もが楽しめる食のイベントまで、クリエイターと企業やまちの人々とのつながりの中から生まれる創造性によりまちを魅力的にし、2020 年に向けて東京の街を盛り上げていく。



cocoten 2015 by coconogacco TRANS ARTS TOKYO 2015

会期：2016 年 10 月 15 日(土)～10 月 30 日(日)

会場：五十通りエリア、一八通りエリア、東京電機大学跡地、ワテラス、アーツ千代田 3331 ほか

TOKYO DESIGN WEEK 2016

今年で 31 回目となる東京・青山を舞台に開催するクリエイティブの祭典。クリエイターや学生、企業まで参加し、デザイン、アート、建築、テクノロジーなど多ジャンルにまたがり、約 30 にのぼるプロジェクトを展開する。特に、今年は「FUTURE BALOON」と称した屋外に配した特設透明バルーンパビリオンを展開し、本助成を活用して「スポーツ」をデザインすることに挑戦。そのほか、インタラクティブ&ロボットミュージアムや、建築模型展、子ども向けの教育普及活動も展開。国内外からの来場者数見込みは約 12 万人。



会期:前期 2016 年 10 月 26 日(水)~10 月 31 日(月)/後期 2016 年 11 月 2 日(水)~11 月 7 日(月)

※11 月 1 日は終日閉場

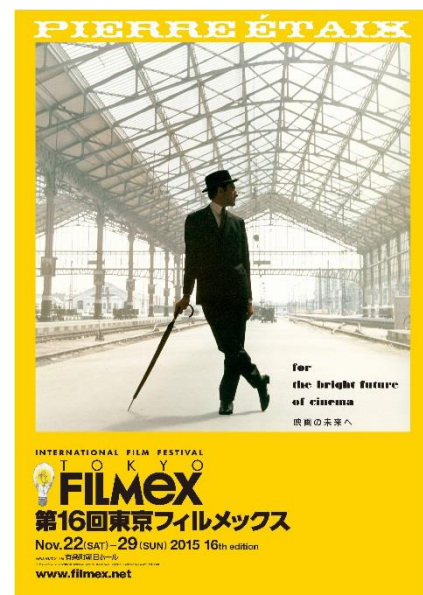
開場時間:11 時~21 時 ※最終日は 20 時まで

会場:明治神宮外苑絵画館前

第 17 回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2016

東京発の国際映画祭。「映画作家を育てる」ことに重きを置き、まだ評価の定まっていない映画の作り手を発掘し、東京から世界へ発信し続けている。また、次世代育成にも力を入れており、フィルメックスで紹介された作家たちが海外の映画祭で最高賞を受賞するなど、15 年以上続く活動は、映画界に与える影響も大きくなってきている。

コンペティション、特別招待作品、特集上映で構成される本映画祭は、2020 年に向け今年度、選りすぐりのアジアの新進作家の約 10 作品を上映。

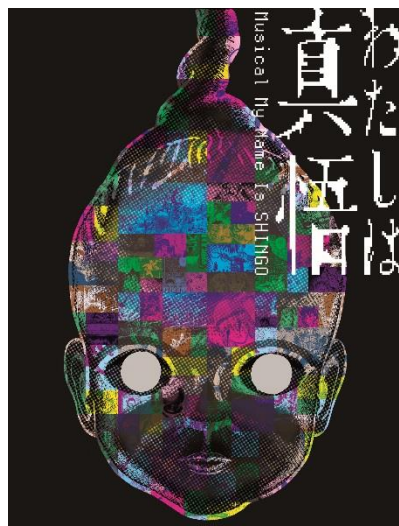


会期:2016 年 11 月 19 日(土)~11 月 27 日(日)

会場:有楽町朝日ホール(有楽町マリオン)、TOHO シネマズ 日劇ほか(予定)

ミュージカル『わたしは真悟』

煤図かずおの傑作漫画「わたしは真悟」を日仏共同でミュージカル化。キャストに高畑充希、門脇麦ら注目の若手俳優を起用するほか、アルベールビル五輪の開閉式の演出を手掛けたフィリップ・ドゥクフレを始め、演出、振付、舞台セットなどフランスから4人のトップクリエイターを招いて、日仏共同制作を行う。また、ストーリーの中に東京を象徴する建物「東京タワー」がハイライトシーンに登場し、東京らしさも散りばめられている。東京から世界を意識して発信する本ミュージカルは、会期中、23回の公演を予定。



公演期間：2017年1月8日(日)～1月26日(木) ※公演回数 23回

公演時間：13時～、14時～、17時30分～、18時30分～ ※公演日によって異なる

※1月10日、1月16日、1月23日は休演

会場：新国立劇場 中劇場